

平成 20 年度顕在化ステージ 事後評価報告書

シーズ顕在化プロデューサー所属機関名：株式会社 シノテスト

研究リーダー所属機関名：佐賀大学

課題名：特発性間質性肺炎に対する診断薬の開発

1. 顕在化ステージの目的

高感度に血中ペリオスチン濃度を測定できる検査システムを構築し、このシステムが特発性間質性肺炎患者における IPF/UIP と COP、あるいは IPF/UIP と健常者とを識別する上で有用であることを示した。また、特発性間質性肺炎のみならず、薬剤性肺障害による肺線維化におけるマーカーとなりうること、さらには治療標的となることを明らかにした。

2. 成果の概要 研究実施者の完了報告書より抜粋

大学の研究成果

特発性間質性肺炎患者における IPF/UIP と COP、あるいは IPF/UIP と健常者とを識別する上で、我々が開発した高感度ペリオスチン測定システムが有用であることを示した。また、特発性間質性肺炎のみならず、薬剤性肺障害による肺線維化におけるマーカーとなりうること、さらには治療標的となることを明らかにした。

企業の研究成果

高感度に血中ペリオスチン濃度を測定できる検査システムを構築した。

3. 総合所見

当初の目標のた対して一定の成果が得られ、高感度血中ペリオスチンの測定系が確立された。ペリオスチンが症状と密接に関係し、治療薬開発の標的になることを示したことも評価できる。予定されていた、血中ペリオスチンの KL-6 に対する優位性、治療反応性、画像データとの相関なども検討して頂きたい。